



京阪神地区

第44期朝日奨学生 新入研修会

2011年3月11日(金)~3月12日(土)の2日間、朝日新聞大阪本社、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキット交通教育センターにて京阪神地区の第一次新入奨学生研修会を行った。参加した新入生は22名。交通安全講習をはじめ、さまざまな研修やアドバイスを受け、充実した2日間を過ごした。

はじめは緊張の様子だった学生も、研修や合間の時間を通して奨学生同士の交流も深まった様子。最終日の帰路ではアドレスを交換しあい、お互いの今後について励ましあった。

第二次研修会は、4月2日(土)に開催した。

無限の可能性を信じ、未来へ進む



朝から元気よく!

2日目は早朝より、全員参加のラジオ体操でスタート。その後健康診断、朝食後、交通安全講習(実技)が開かれ、2グル

2日目(12日)

ープに分かれて二輪車の運転走行を体験した。初心者グループはエンジンのかけ方、基本の走行姿勢からの講習。はじめは戸惑っていた奨学生も、スムーズに走行できるまで上達した。経験者グループは難しいコーナーワークや、ギアの細かい調整方法などの指導を受け、さらに腕を磨いた。

午後からは座学、教室に場所を移し、二輪車の特性や危険回避の方法などを受講した。

その後、鈴鹿サーキット交通教育センター・平井課長のあいさつで、2日間に渡った研修会は閉会し、全員無事に帰路についた。



コーナーワークも完璧!



交通安全講習(実技)



交通安全講習(座学)



三上所長の講話



藤井会長のあいさつ

1日目の開会式は、阪神朝日会・藤井会長(ASA立花)のあいさつで始まった。「奨学生生

1日目(11日)

活を最後までやり遂げる覚悟」と激励。続いて、朝日新聞大阪本社・流通開発部・中川労政担当次長の祝辞では、仕事に責任を持つ大切さについて語った。

神戸・ASA鈴蘭泉台・三上所長の講話では、「配達順路は頭ではなく、体で覚える」など、実践的なアドバイスを受けた。

一般常識研修では、(株)JBMコンサルタント・梅谷講師より、社会人としての心構えや電話応対などを学んだ。あいさつの講習では奨学生同士で立ち振る舞



お互いの笑顔をチェック



1班と2班

いをチェックする場面も。夕食・歓迎会は中川労政担当次長による乾杯の音頭で開会した。また、全員壇上で自己紹介するコーナーが設けられ、大いに盛り上がった。

その後、班別ミーティングでは健康診断の準備、事務局への質疑応答、スケジュール確認などを行い、1日目が終了した。



一人ずつ自己紹介



3班と4班